

令和2年11月27日

学長メッセージ

東京海洋大学 学生及び教職員の皆さんへ(第5報)

国立大学法人東京海洋大学

学長 竹内俊郎

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大を防止するための対策が世界中で展開される中、本学では、「新型コロナウイルス対策本部(本部長:学長)」において、具体的な対策を検討、決定するとともに、改訂版(5回)を含めて計9回の「学長メッセージ」を発信し、学生・教職員・ご家族の皆さんに対して、HPを通じて、「自分は感染しない。相手にも感染させない。」ということをもットーに、大学の方針について伝えてきました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、本学も大きな影響を受けることとなりました。

学生の皆さんは、4月からの半年間、オンライン授業中心のために教員との直接的な対話ができず、また課外活動などに参加できないことで豊かな友人関係を築くこともままならず、大きな不安を抱えることとなりました。とりわけ新入生の皆さんは、大学に通うこともなく、友人や仲間と学生生活を送る状況ではなかったので切実だと思っています。こうした慣れない環境の中であるにもかかわらず、感染防止にご協力いただき、心より感謝します。

教員の方々には、遠隔授業のためのコンテンツ作りに多大な労力を強いられ、ストレスを感じられた方も多かったのではないのでしょうか。一方で、今回の遠隔授業は、これまでの教育方法を見直す契機となるかもしれません。遠隔授業に関する教員及び学生のアンケート結果も参考にしながら、今後、本学の特色を生かした教育の在り方を考えていきたいと思いをします。

職員の皆さん、とりわけ学務部の方々には、学生からの履修登録などの問合せ、各種支援制度への対応など多くの課題に忙殺されていると思います。学務部以外の方々も、様々な課題に対して迅速に対応していただいています。皆さんのご努力に感謝しています。

本学では、10月から対面授業も開始したことから、少しは大学生活に幅が広がりつつあるのではないのでしょうか。しかしながら、今般、全国的な感染者数の顕著な増加により、とりわけ東京都内では、11月19日に都独自の警戒レベルを、最も深刻な「感染が拡大している」(レベル4)に引き上げられるとともに、年末年始で会食が増えることが予想されることから、徹底対策が呼び掛けられました。これにより、教育や研究のみならず、国際交流や課外活動など、大学本来の諸活動が再度制限される可能性も出てきましたが、今は皆さんの安全と健康の確保が何より重要と認識しています。

学生・教職員の皆さんにおかれましては、これからインフルエンザや風邪が流行する季節となりますが、引き続き新型コロナウイルスから身体、生命を守るため、気を緩めることなく感染防止等(マスクの着用、手洗いの励行、咳エチケットの徹底、3密の回避やソーシャルディスタンスなど)に努めるとともに、十分な体調管理、不要不急の外出・会合の自粛にご協力願います。

ます。また、感染リスクが高まる「5つの場面」にもありますように、飲食に関しては注意が必要で、別途、会食中もマスクの着用が推奨されているなど、これらの点について、特段の配慮をお願いします。

今後、ポストコロナの時代として、「新しい生活様式」の確立・定着とともに、新しい働き方、新しい社会のシステムを考え築き上げていく必要性が叫ばれています。大学も例外ではありません。

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑え、この困難な状況を乗り越えていくためには、本学の構成員が一丸となって取り組むことが不可欠です。東京海洋大学の学生・教職員としての自覚と責任をもって学校生活及び社会生活を送っていただくよう、学長として改めてお願いいたします。